

人事委員会事務局決算の概要

1 決算総括

中立的で独立した人事行政の専門機関として、職員採用試験を通じて本市が求める有為な人物の採用を行うとともに、社会情勢に適応した職員の勤務条件の確保等について報告及び勧告を行うなど、職員力と組織活力の向上を図る取組を行った。

令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、3月に予定されていた合同企業説明会が中止となったものの、SNS (twitter) の開設、インターネット広告を活用した採用試験の周知や、職員と参加者が座談会形式で対話するガイダンスの実施、技術職場見学会の開催など、積極的な広報活動を実施した。

さらに、勤務状況等に関する各事業場への調査については、対象事業場を市立学校・幼稚園にも拡大し、労働関係法令の周知・啓発及び取組の支援を実施した。

今後とも、本市が求める有為な人物の採用に向けて、職員採用試験の在り方や広報活動などに関して、様々な方策を検討するとともに、職員の適切な勤務条件の確保のため、より本市にふさわしい給与制度や勤務条件について検討を行い、本市の職員力と組織活力の向上を目指していく。

2 重点取組の実績

(1) 有為な人物の採用

取組名	実績
人物重視による職員採用試験の実施	・第1次試験から受験者全員と個別面接を行う上級I「京都方式」をはじめ、全ての採用試験で人物重視の選考を実施
求める人物を獲得するための広報活動の充実	・職員採用ガイダンス（※新型コロナウイルスの影響により動画配信による実施）や大学等でのガイダンスの実施、合同企業説明会への参加をはじめ、SNSの開設やインターネット広告の掲載など、多様な手法、媒体を通じて市職員の仕事の魅力発信を強化 ・技術職対象の現場見学会の実施、職種別リーフレットの作成など、試験種別に応じた広報活動を実施

(2) 適切な勤務条件の確保

取組名	実績
給与その他の勤務条件に関する報告・報告の適切な実施	・民間給与と職員給与の比較に基づき、国等の制度との均衡等を考慮のうえ、給与に関する報告及び勧告を実施 ・給与以外の勤務条件について、働き方改革やワーク・ライフ・バランスの考え方等も踏まえた報告を実施 ・労働関係法令の周知・啓発及び取組の支援を目的に、事業場調査を実施（令和元年度からは、対象事業場を市立学校・幼稚園にも拡大）

(単位:千円)

3 人事委員会事務局所管の決算額

(1)一般会計

ア 歳出

款項	予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
総 務 費	29,800	22,499	-	7,301
人 事 委 員 会 費	29,800	22,499	-	7,301

4 人事委員会事務局主要施策の概要

当初予算額の下段の括弧書きは、補正予算額、前年度繰越額、流用・移用等の予算の増減額、不用額の下段の括弧書きは、翌年度繰越額で、いずれも外数です。

項 目	主 要 施 策 の 概 要	当初予算額(A) (増減額(B))	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	不用額 (F=C-D-E) (翌年度繰越額(E))
	一般会計合計	千円 29,800	千円 29,800	千円 22,499	千円 7,301
(1 人事行政)		29,800	29,800	22,499	7,301
人 事 行 政	職員採用事務，民間給与実態調査事務など	29,800	29,800	22,499	7,301

(人事委員会事務局-1)